

創業287年 譽田屋源兵衛

京都室町で帯匠として知られる譽田屋。
現在は十代目である山口源兵衛氏が、代々受け継がれてきた
技術とともに革新の精神を持って、呉服業界に次々と作品を発表。
その他にもジャンルを超えたコラボや古代織大麻布の復活など、
日本文化を伝承するものづくりに取り組んでいます。



- 1738年 初代矢代庄五郎により、南矢代譽田屋創業
- 1979年 現10代目譽田屋源兵衛襲名、継承。
後、帯作りに専念。
- 2002年 「かぐやこの繭小石丸展」小石丸企画に対して
日経MJ賞受賞。
- 2003年 日本文化デザイン大賞受賞。
- 2012年 山口源兵衛がトヨタのスポーツカー「トヨタ86」の
イメージキャラクターとして起用される。
- 2016年 英国ヴィクトリア&アルバート博物館に、
永久所蔵品として譽田屋源兵衛の作品が、
七点収蔵される。



紙世妙

経糸が絹、
緯糸に紙の繊維をつかい
織りあげた生地

紙世妙 ペガサス



袋帯 LET IT BE 蜉蝣



紙布八寸 蛸乃回十郎 名塩雁皮紙



紙布八寸 ピーピングトム

国定重要無形文化財 名塩和紙

最大の特長は泥を入れて作る
雁皮(がんび)和紙。
泥が混ざっているから、長い年月を
経ても虫がつかないし、色もあせない。
この紙がなければ国宝の修理が
出来ないとまでいわれている。